2019年12月期
第1四半期決算説明会

GMO INTERNET

STOCK CODE：9449

グループ代表　熊谷 正寿
取締役副社長　安田 昌史

2019年5月9日

1．結論と要約
2．決算概要
3．セグメント別状況
①グループ概況
②インターネットインフラ事業
③インターネット広告・メディア事業
④インターネット金融事業
4．海外事業
5．仮想通貨事業
6．GMOあおぞらネット銀行
7．インターネットインフラ事業ご利用状況

決算ハイライト

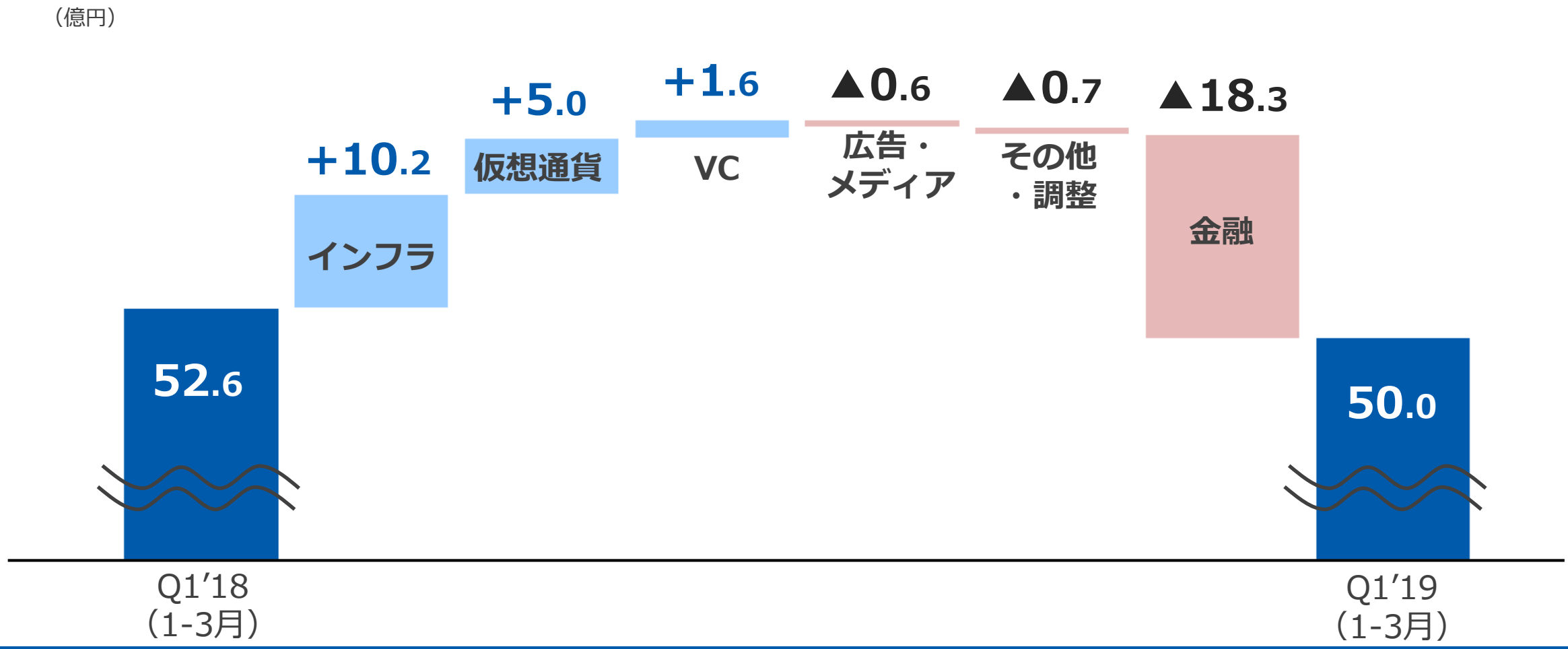
- インフラ： 6四半期連続の最高業績、契約件数**1,000**万件を突破
- 金融：一時的な相場変動、取引高減少により減益
- 仮想通貨交換：取引高減により損失計上
- 仮想通貨マイニング：再構築が進捗

結論と要約｜決算サマリー

（億円）	Q1‘18（1-3月）	Q1‘19（1-3月）	対前年	増減率
売上高	437	**468**	**+31.5**	**+7.2%**
営業利益	52.6	**50.0**	**▲2.6**	**▲5.1%**
経常利益	49.3	**48.8**	**▲0.4**	**▲0.9%**
最終利益	20.8	**20.2**	**▲0.6**	**▲3.0%**

結論と要約｜営業利益増減（対前年）

営業利益 **50.0**億、対前年▲**2.6**億（同 **5.1**%減）



結論と要約｜Q1（1-3月）セグメントの状況

インフラ	売　　上	274.8億	（対前年+17.5%）	最高業績
	営業利益	36.1億	（同+39.7%）	最高業績
	6四半期連続の最高業績更新。決済・EC・アクセス伸長			
広告・メディア	売　　上	120.7億	（同▲1.6%）	
	営業利益	2.4億	（同▲20.8%）	
	旧自社商材の販売終了、アドテク商材の掲載基準厳格化の影響などにより減収減益			
金融	売　　上	63.9億	（同▲21.5%）	
	営業利益	14.6億	（同▲55.5%）	
	FX取引高の減少に加え、年初の一時的な相場急変などが収益を押し下げ			
仮想通貨	売　　上	12.9億	（同+103.7%）	
	営業利益	▲2.2億	（同+5.0億）	
	交換事業は取引高減が響き損失計上。マイニング事業は再構築により赤字幅大幅圧縮			

結論と要約｜株主還元（方針・実績）

方針

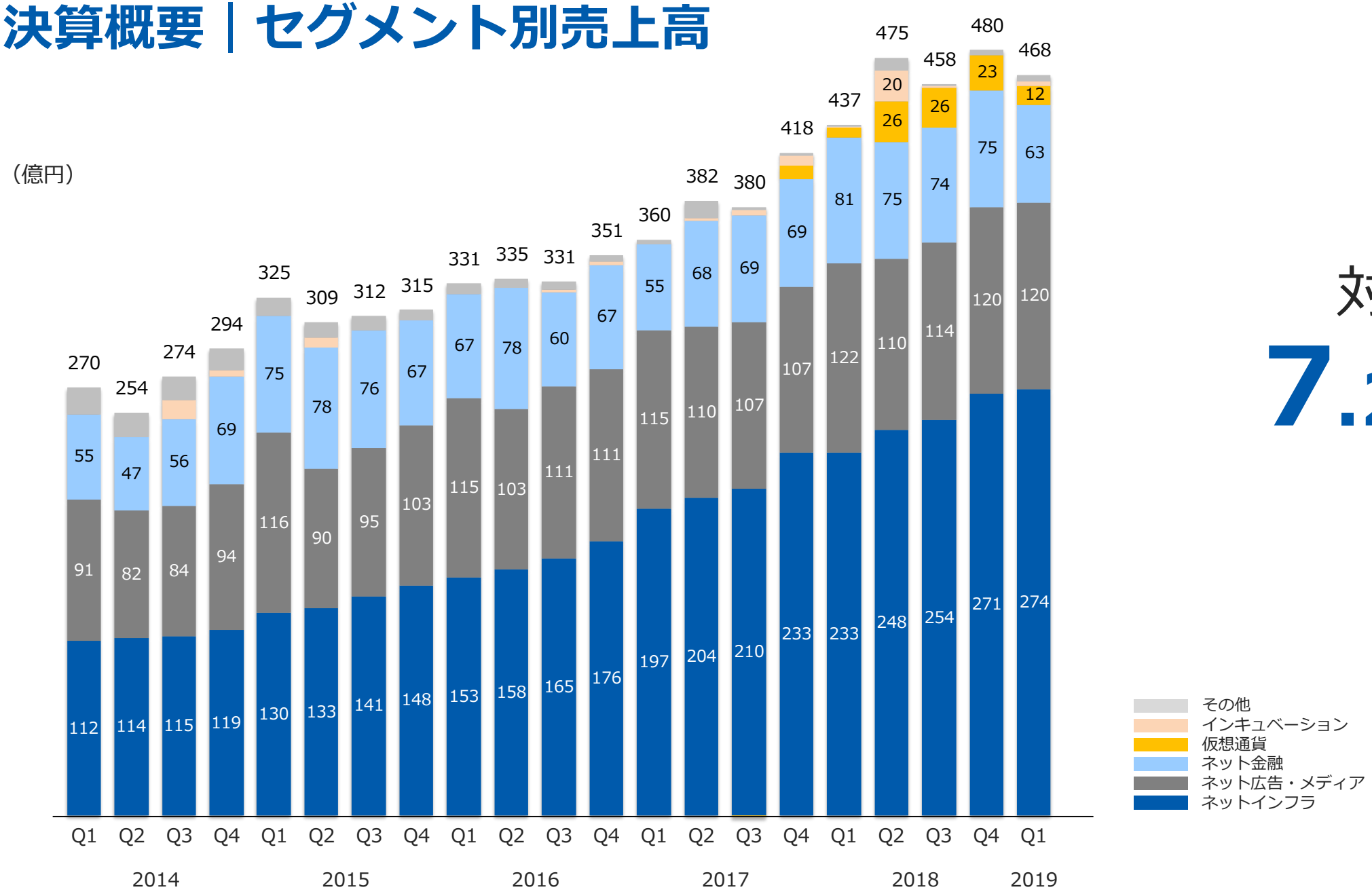
総還元性向
50%
＝
配当性向
33%以上
四半期配当
＋
自己株式の取得
17%
年度末の最終利益を原資として
翌年度に実施

1株あたり配当金

(円)	Q1	Q2	Q3	Q4	年間
FY2018	6.00	6.20	5.50	11.80	29.50
FY2019	**6.00**	-	-	-	-

1．結論と要約
2．決算概要
3．セグメント別状況
①グループ概況
②インターネットインフラ事業
③インターネット広告・メディア事業
④インターネット金融事業
4．海外事業
5．仮想通貨事業
6．GMOあおぞらネット銀行
7．インターネットインフラ事業ご利用状況

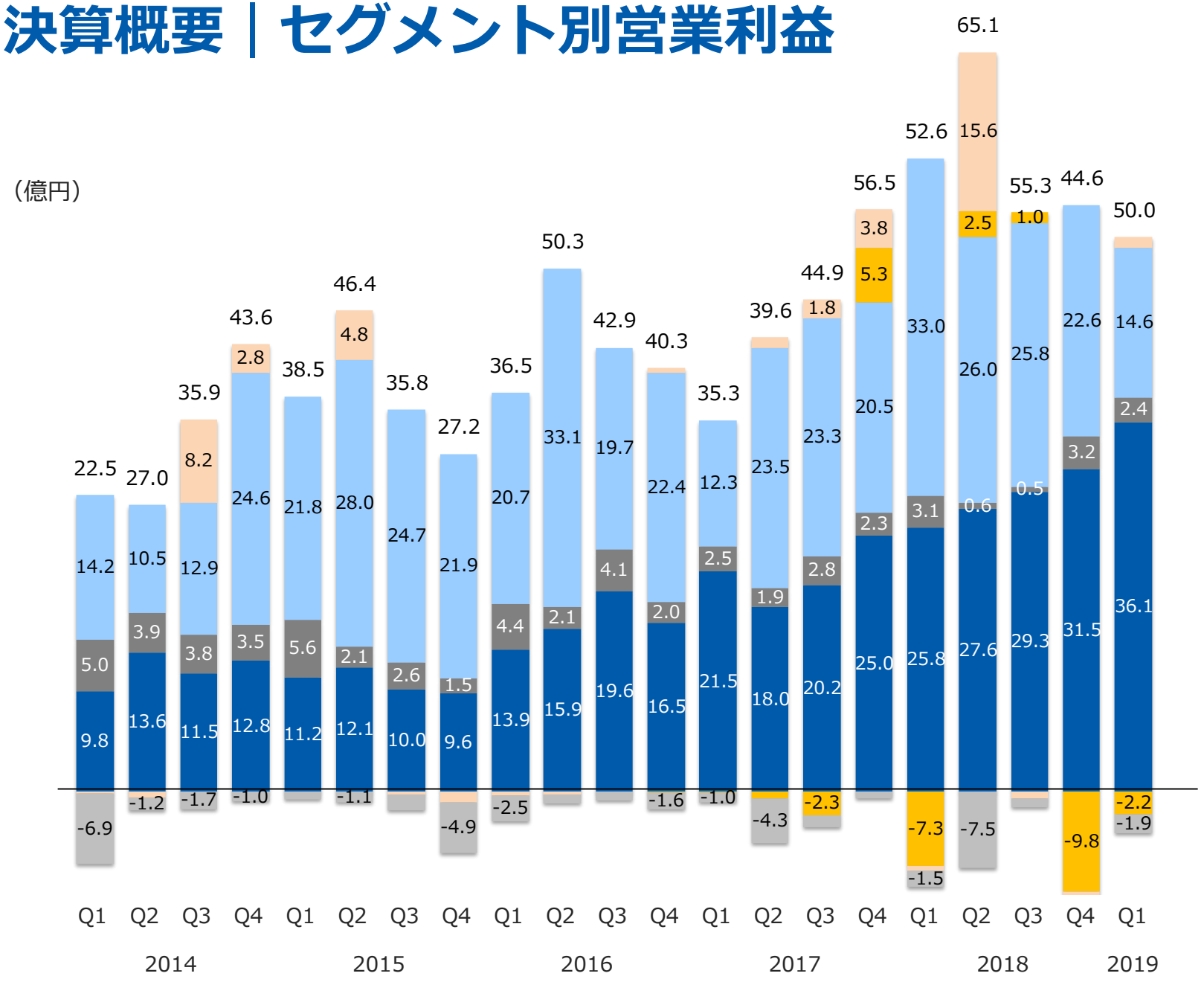
決算概要｜セグメント別売上高



対前年

7.2%増収

決算概要｜セグメント別営業利益



対前年

5.1%減益

決算概要｜PLサマリー

(億円)	Q1'18 (18年1-3月)	**Q1'19 (19年1-3月)**	増減	補足 (2019年)
売上高	437.0	**468.6**	7.2%	
売上総利益	220.0	**224.8**	2.2%	
営業利益	52.6	**50.0**	-5.1%	
（営業利益率）	12.1%	**10.7%**	-1.4pt	
営業外損益	-3.3	**-1.1**	-	持分法投資損失　▲2.4億（前年同期は▲1.3億）
経常利益	49.3	**48.8**	-0.9%	
特別損益	-0.1	**2.7**	-	仮想通貨マイニング事業再構築損失戻入益　+7.6億円
税前利益	49.1	**51.6**	5.0%	
法人税等	19.3	**17.2**	-10.8%	
非支配株主損益	8.9	**14.1**	57.3%	
親会社株主に帰属する純利益	20.8	**20.2**	-3.0%	

決算概要｜BSサマリー

(億円)	2018年12月末	**2019年3月末**	増減	GMO FH (2019年3月末)	増減
流動資産	7,105	**7,260**	155	5,582	416
現金預金	1,440	**1,356**	-84	557	160
固定資産	419	**455**	36	82	1
のれん	18	**17**	-0	5	-0
ソフトウェア	58	**60**	1	15	0
投資有価証券	76	**86**	10	29	-0
資産合計	7,524	**7,716**	191	5,664	417
負債	6,560	**6,736**	176	5,316	428
有利子負債	1,111	**1,289**	177	962	297
純資産	964	**979**	15	348	-10
非支配株主持分	439	**448**	9	8	-0
自己資本	524	**530**	5	339	-10
利益剰余金	146	**153**	6	308	-1
(自己資本比率)	7.0%	**6.9%**	-0.1pt	6.0%	-0.7pt
負債・純資産合計	7,524	**7,716**	191	5,664	417

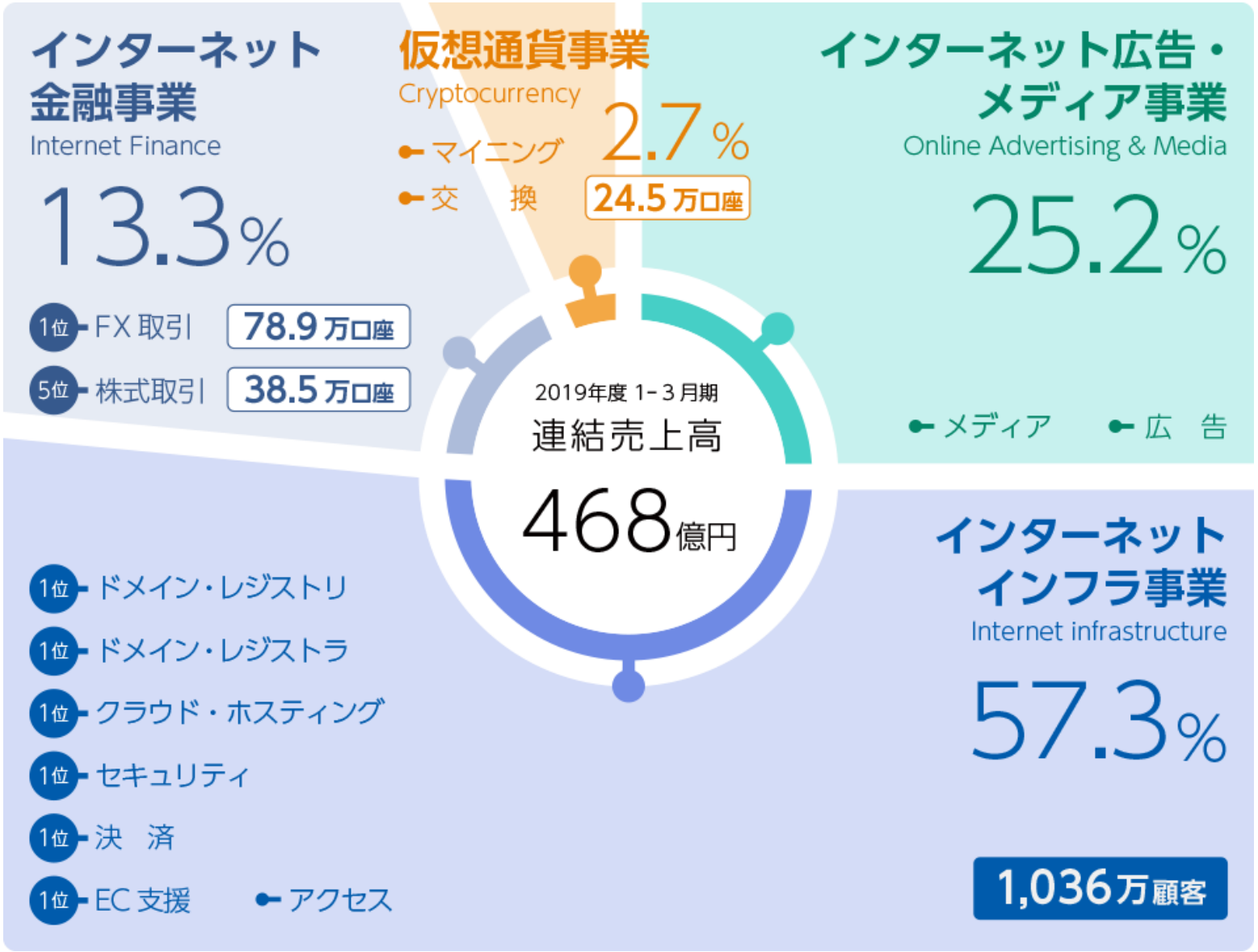
1．結論と要約
2．決算概要
3．セグメント別状況
①グループ概況
②インターネットインフラ事業
③インターネット広告・メディア事業
④インターネット金融事業
4．海外事業
5．仮想通貨事業
6．GMOあおぞらネット銀行
7．インターネットインフラ事業ご利用状況

グループ概況｜上場グループ会社　時価総額・持分相当額

コード	銘柄名	市場	時価総額（億円）※1	持分比率※2	持分相当額（億円）
9449	GMOインターネット	東証1部	1,943		
3769	GMOペイメントゲートウェイ	東証1部	6,464	42.0%	2,714
7177	GMOフィナンシャルHD	東証JQS	696	62.6%	435
3788	GMOクラウド	東証1部	492	51.8%	254
3633	GMOペパボ	東証JQS	204	65.0%	132
4784	GMOアドパートナーズ	東証JQS	72	55.9%	40
6180	GMOメディア	マザーズ	31	65.3%	20
3695	GMOリサーチ	マザーズ	28	54.3%	15
6026	GMO TECH	マザーズ	22	54.1%	11
	グループ合計		9,952※3		3,621

※1：時価総額は5/8時点、※2：持分比率は間接保有分を含む、3月末時点　※3：単純合算

グループ概況｜事業領域



岩盤収益基盤

1,178万顧客

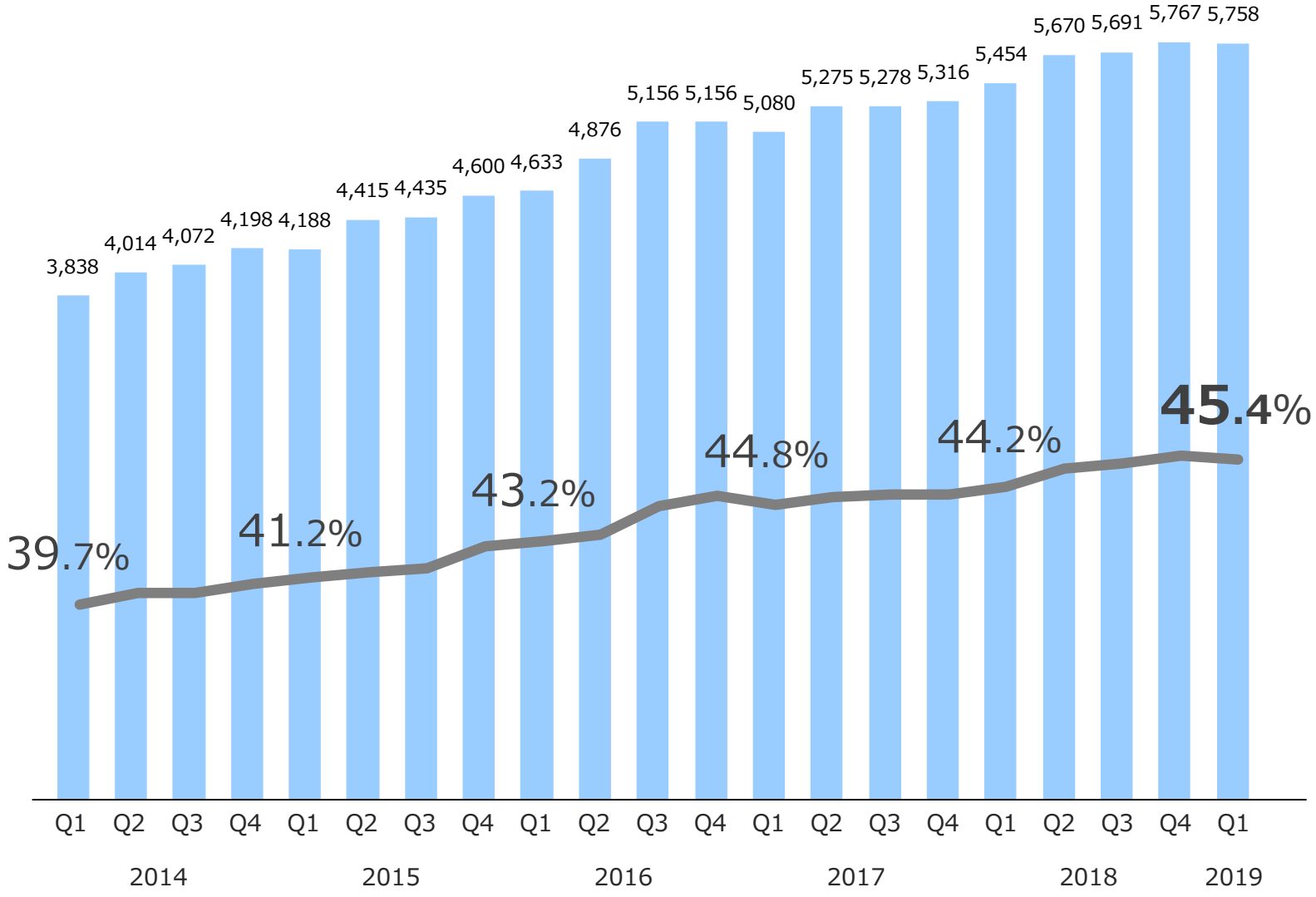
インフラ+金融

対前年

148万件増

※売上比率はセグメント間取引消去前の数値で算出　※2018年第1四半期より、仮想通貨事業セグメントを新設。モバイルエンターティメント事業をその他事業に移行
※1,178万件はインフラ、金融、仮想通貨事業の契約数を実数で集計

グループ概況｜強み（技術力）



エンジニア比率

50%目標

総パートナー（人）

うち、エンジニア・クリエイター比率（%）

1．結論と要約
2．決算概要
3．セグメント別状況
①グループ概況
②インターネットインフラ事業
③インターネット広告・メディア事業
④インターネット金融事業
4．海外事業
5．仮想通貨事業
6．GMOあおぞらネット銀行
7．インターネットインフラ事業ご利用状況

ネットインフラ｜事業構成

圧倒的No.1 ドメイン・レジストリ　GMO REGISTRY　GMO BrightsConsulting　※1　国内シェア **87.4%**

圧倒的No.1 ドメイン・レジストラ　お名前.com　MuuMuu Domain　Value-domain by GMO　※2　国内シェア **87.3%**

圧倒的No.1 クラウド・ホスティング　お名前.com レンタルサーバー　LOLIPOP!　GMOクラウド　GMOアプリクラウド　ConoHa by GMO　Value-server by GMO　※3　国内シェア **56.6%**

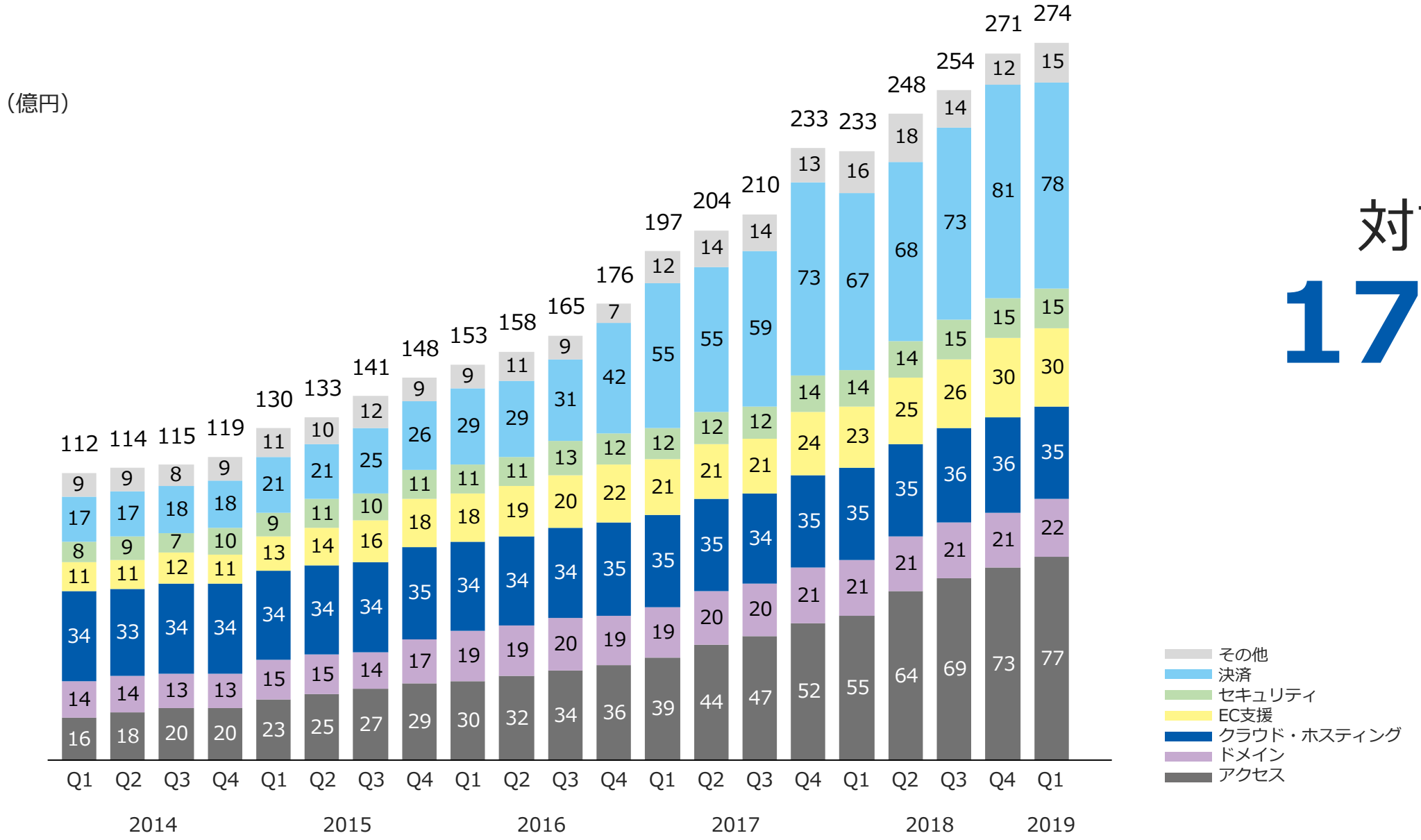
No.1 EC支援　COLOR ME by GMOペパボ　MakeShop by GMO　有料店舗数 **7.1万**

No.1 セキュリティ(SSL)　GlobalSign　※4　証明書枚数 **6.2%増**

No.1 決　済　GMO PAYMENT GATEWAY　GMO EPSILON　導入店舗数 **13.3万**

※1：国内レジストリシェア当社調べ　※2：国内ドメインシェアICANN調べ　※3：Webhosting.info調べ　※４：1-3月期対前年国内発行枚数増加率　Netcraft社調べ

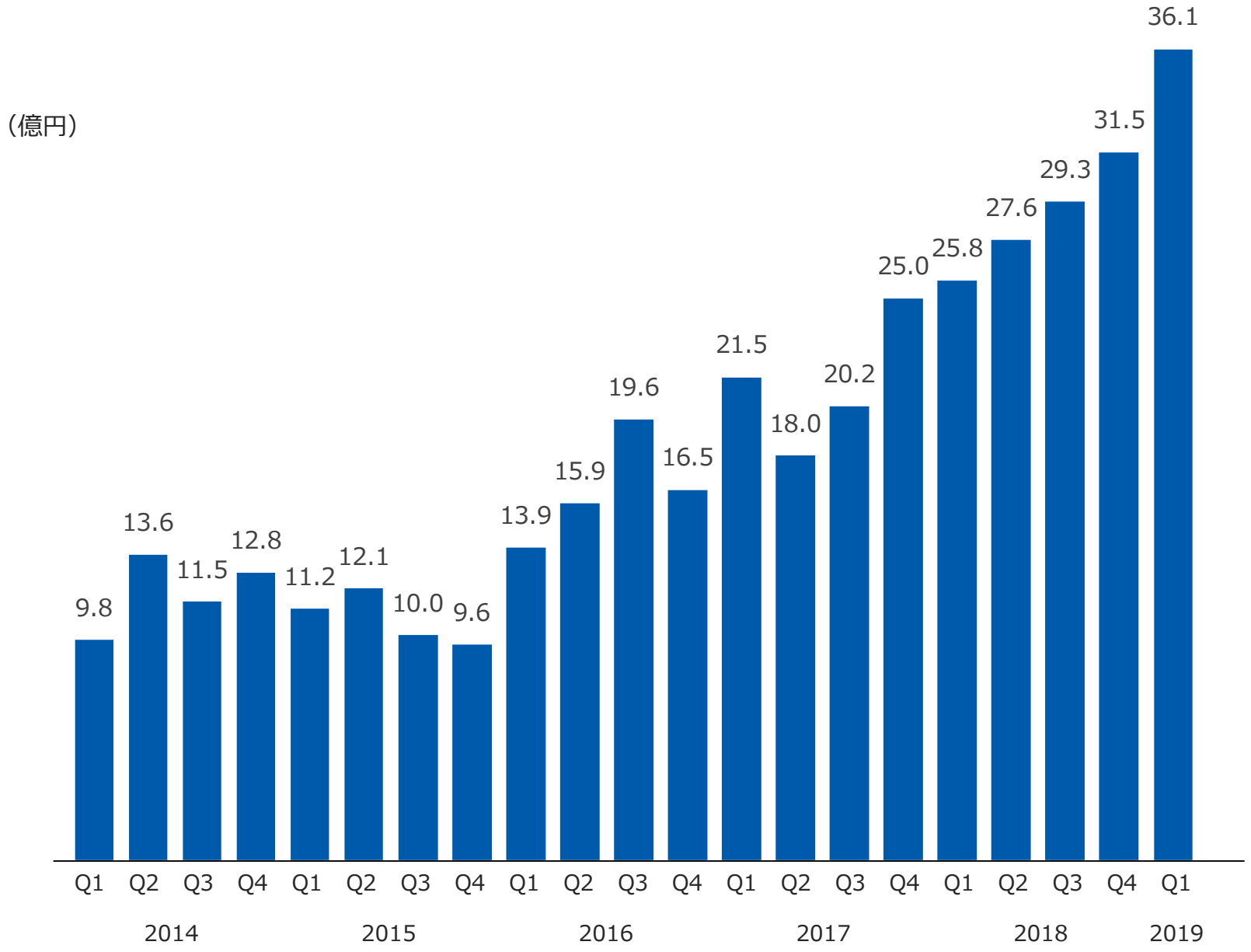
ネットインフラ｜セグメント別売上高



対前年

17.5%増

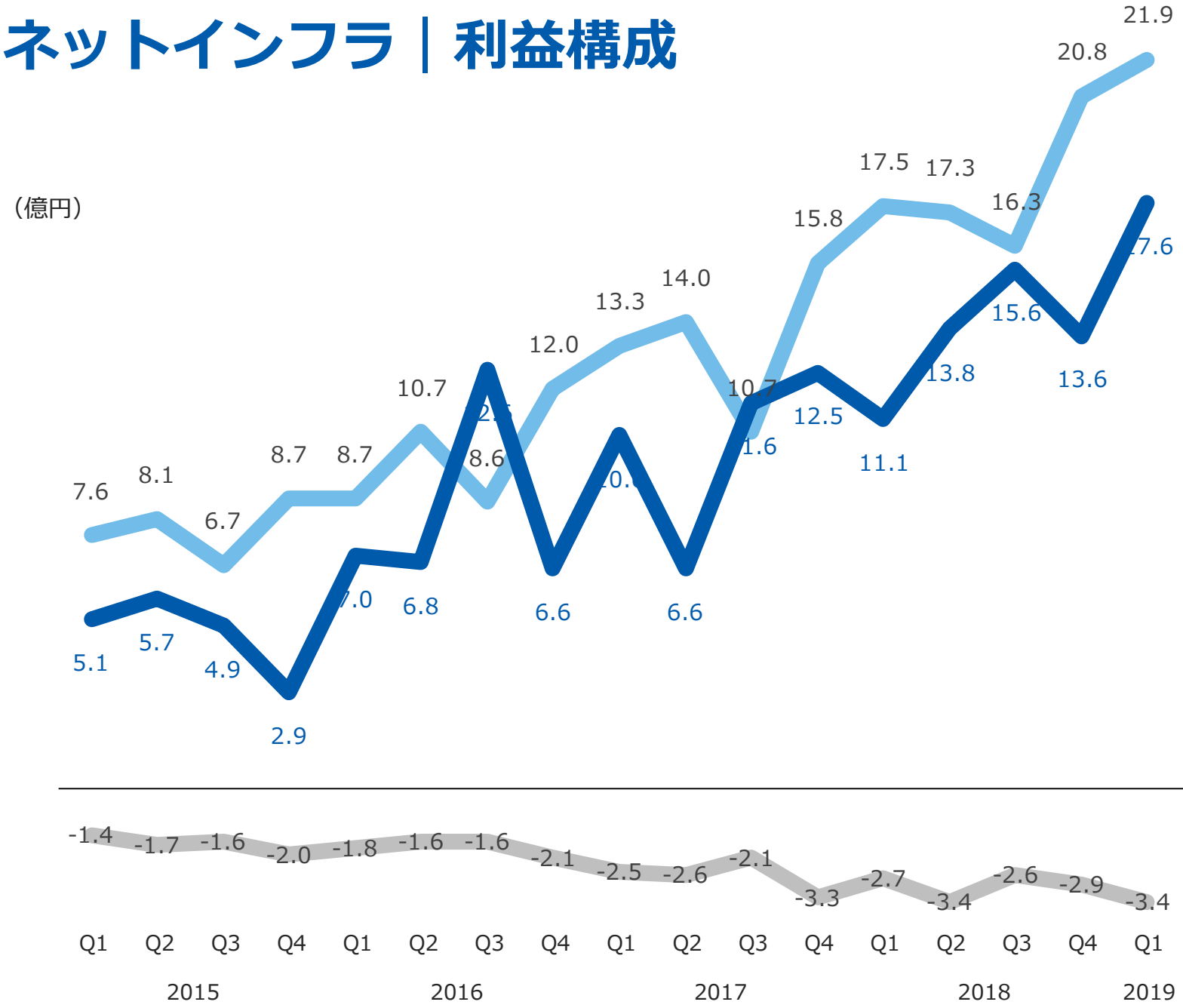
ネットインフラ｜営業利益



対前年

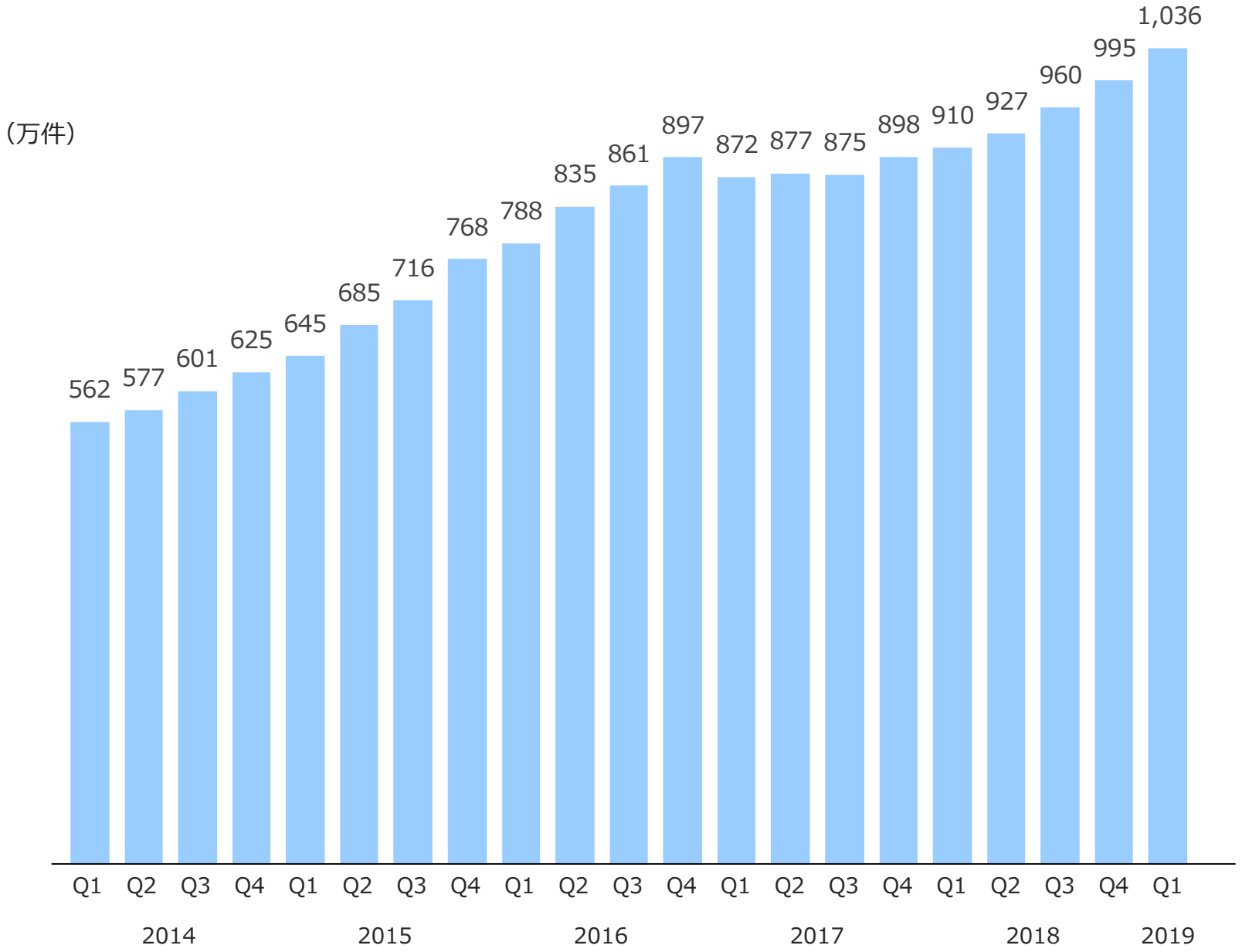
39.7%増

ネットインフラ｜利益構成



インフラ各社が
バランスよく成長

ネットインフラ｜契約件数



インフラ岩盤収益基盤

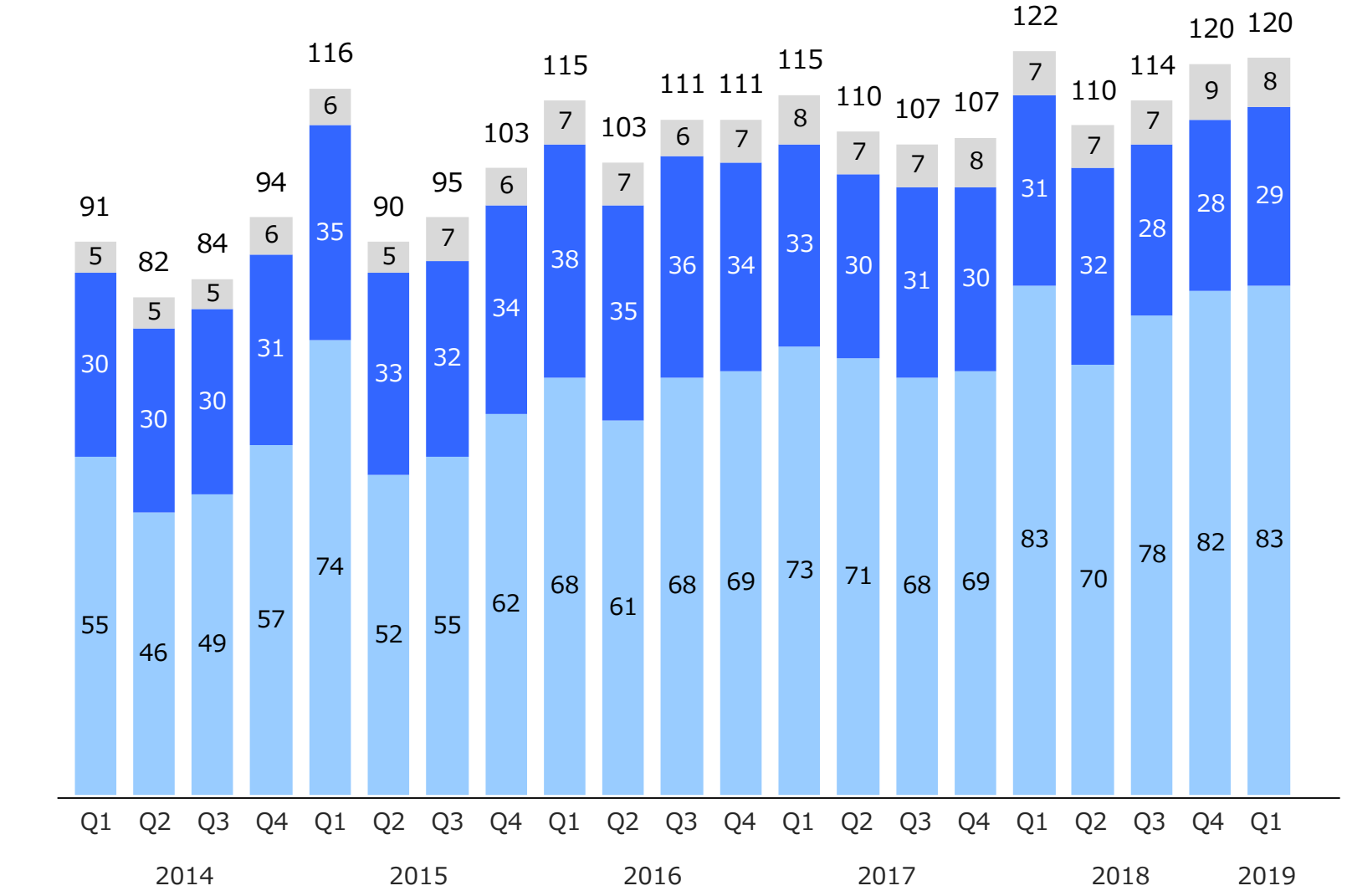
1,036万顧客

ネットインフラ｜まとめ

短期の見通し	No.1商材の提供により高成長継続
中長期戦略	「強いところはより強く」 既存インフラ×金融のグループシナジーにより成長加速

1．結論と要約
2．決算概要
3．セグメント別状況
①グループ概況
②インターネットインフラ事業
③インターネット広告・メディア事業
④インターネット金融事業
4．海外事業
5．仮想通貨事業
6．GMOあおぞらネット銀行
7．インターネットインフラ事業ご利用状況

ネット広告・メディア｜セグメント別売上高

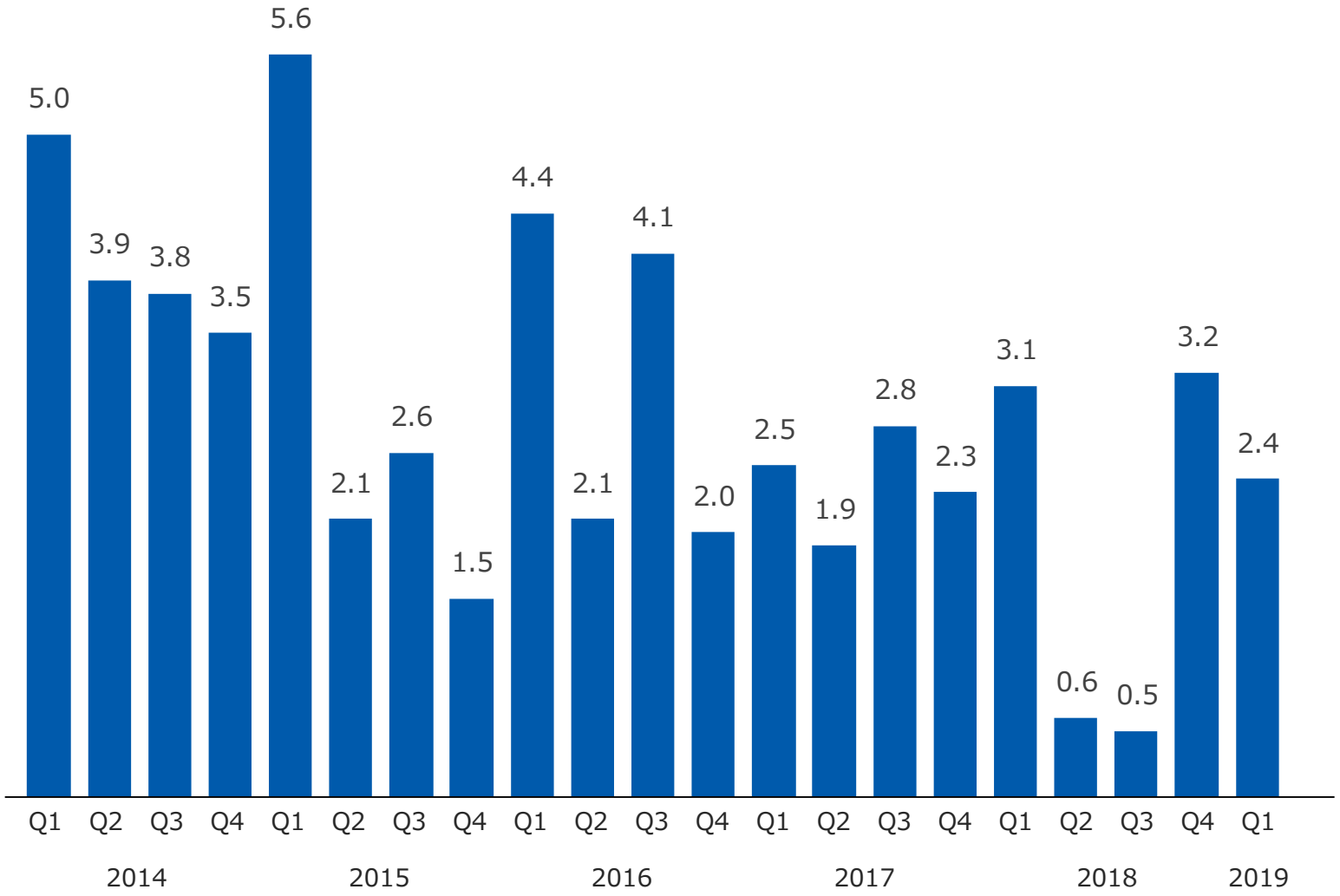


対前年

1.6%減

ネット広告・メディア｜営業利益

（億円）



対前年

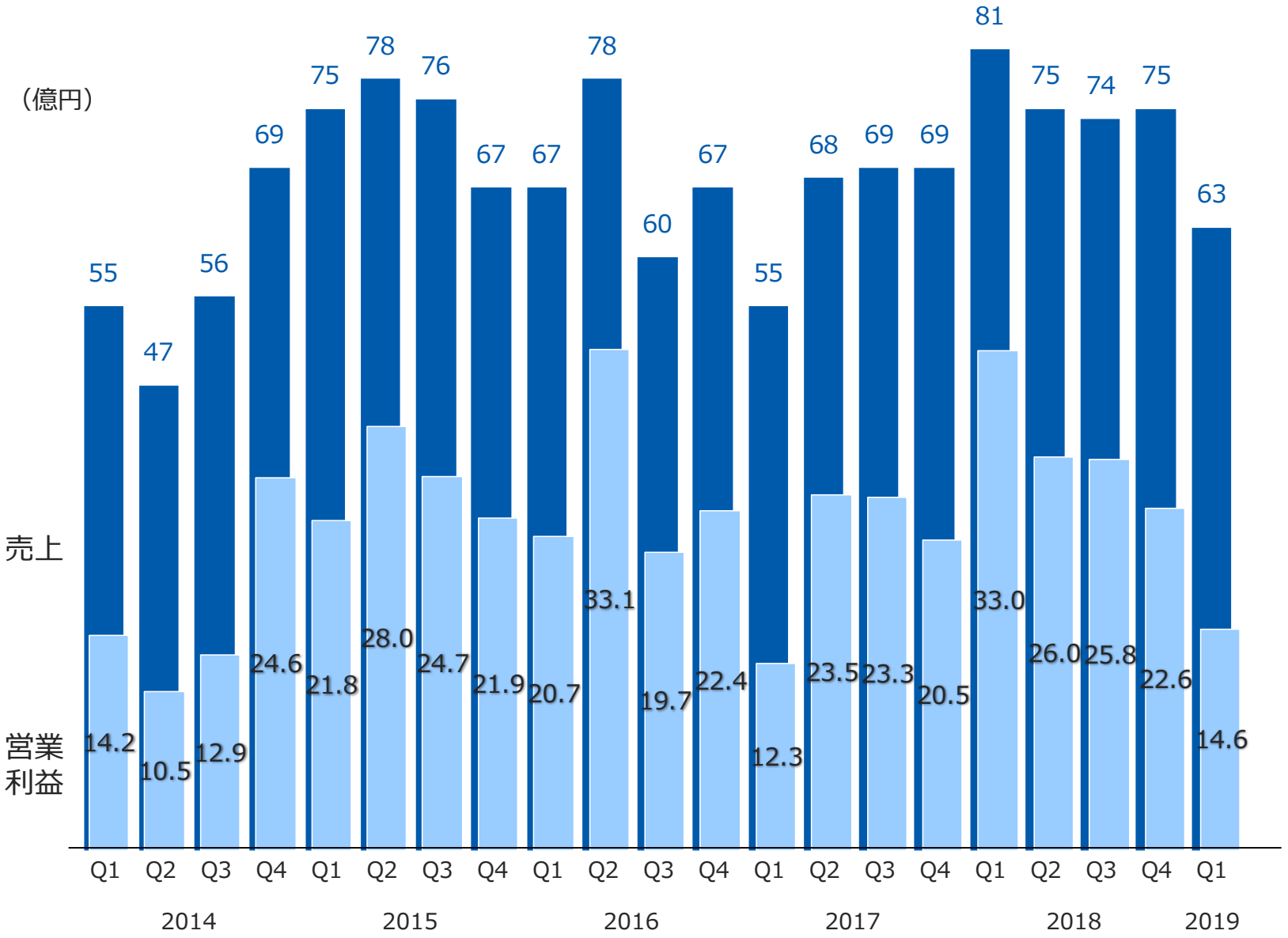
20.8%減

ネット広告・メディア｜まとめ

短期の見通し	• 動画・SNSなど新領域で大手顧客の獲得進む • 旧自社商材販売終了の影響は一過性 • アドネットワーク広告の品質向上で、ナショナルクライアントの獲得目指す
中長期戦略	「弱いところはNo.1の商材を持つ」 自社商材・自社メディアを伸ばし、V字回復へ

1．結論と要約
2．決算概要
3．セグメント別状況
①グループ概況
②インターネットインフラ事業
③インターネット広告・メディア事業
④インターネット金融事業
4．海外事業
5．仮想通貨事業
6．GMOあおぞらネット銀行
7．インターネットインフラ事業ご利用状況

ネット金融｜四半期業績推移

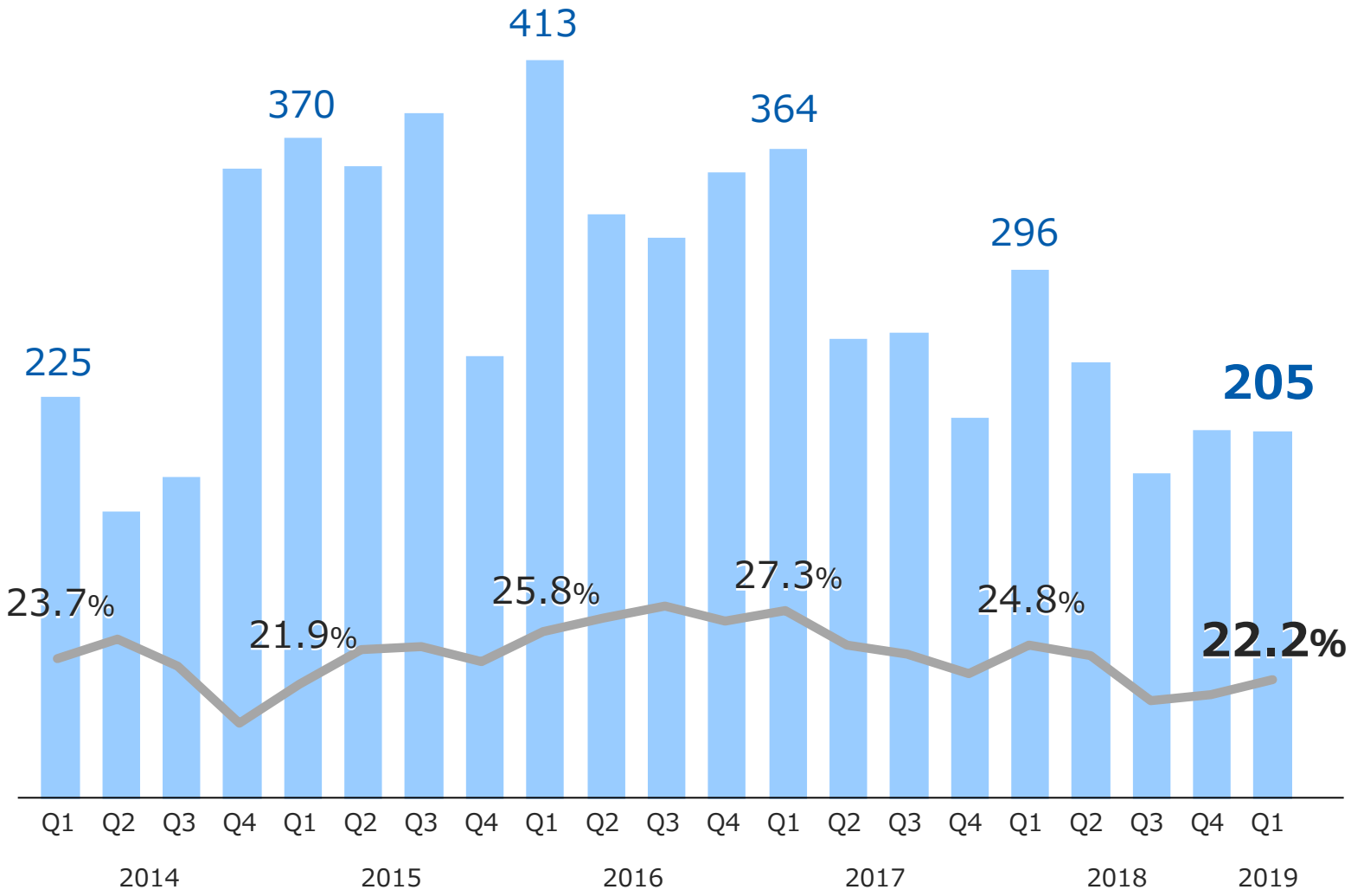


対前年

21.5%減収

55.5%減益

ネット金融｜FX事業 取引高・マーケットシェア



年間取引高

7年連続

世界No.1

GMO-FH_2019年12月期第1四半期決算説明会資料データ及び金融先物取引業協会「店頭FX月次速報」より当社作成
※1 GMOクリック証券、FXプライムbyGMOの取引高合算数値 ※2 グループ・シェアは、金融先物取引業協会「店頭FX月次速報」を市場全体として対象3ヶ月間の売上高の合算にて算出

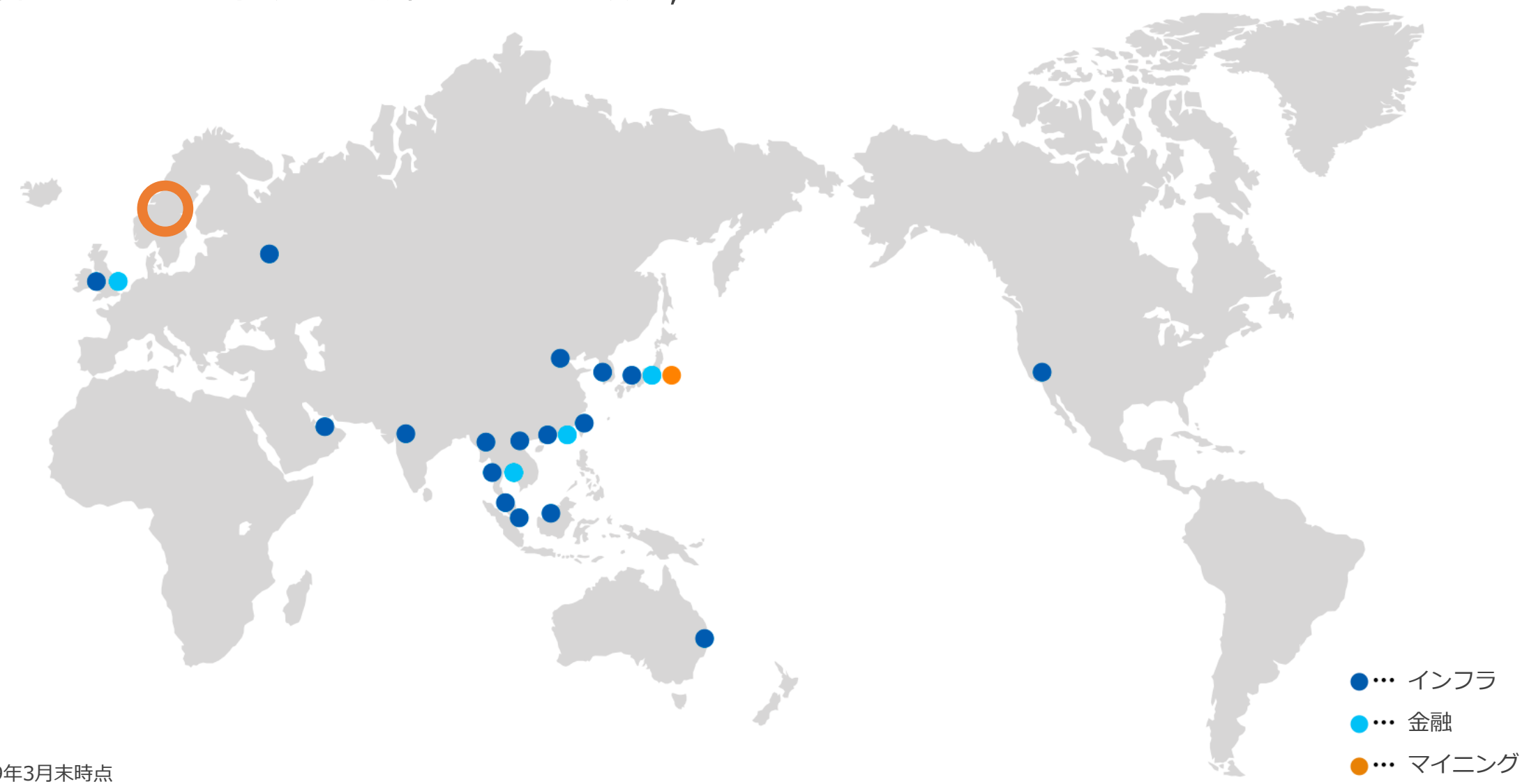
ネット金融｜まとめ

短期の見通し	• ボラティリティ低下を背景にFX取引高は低調に推移。収益性改善の取り組みを継続 • 新商品「株価指数バイナリーオプション」は順調なスタート
中長期戦略	• FXはAI・ビッグデータの活用に加え、BtoBビジネスの本格展開により、さらに収益性を向上 • FX以外の商品拡大により市場への対応力高める

1．結論と要約
2．決算概要
3．セグメント別状況
①グループ概況
②インターネットインフラ事業
③インターネット広告・メディア事業
④インターネット金融事業
4．海外事業
5．仮想通貨事業
6．GMOあおぞらネット銀行
7．インターネットインフラ事業ご利用状況

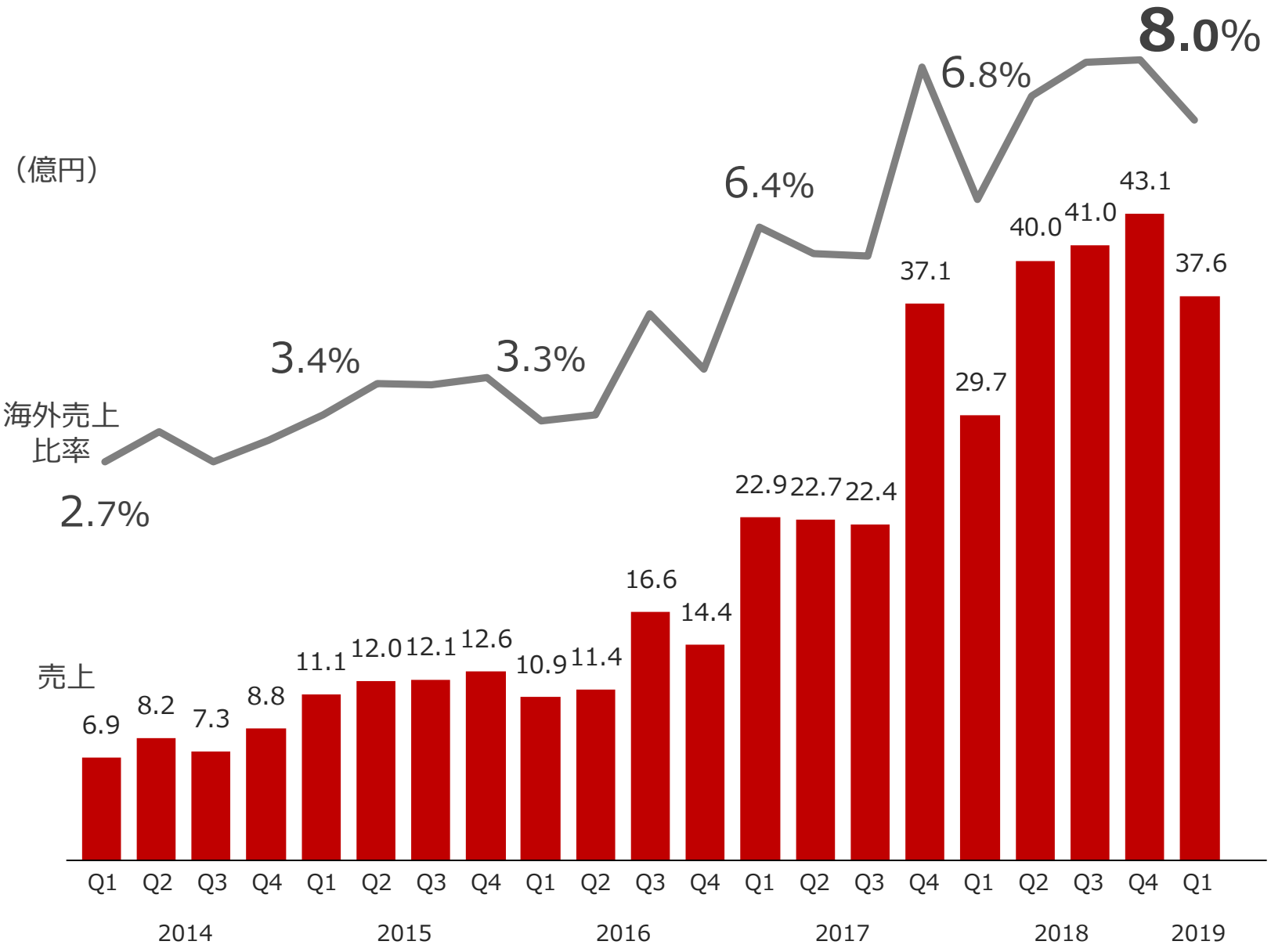
海外事業｜拠点

世界22カ国　66拠点　海外パートナー数1,340人



※2019年3月末時点

海外事業｜売上推移



対前年

26.6%増

1．結論と要約
2．決算概要
3．セグメント別状況
①グループ概況
②インターネットインフラ事業
③インターネット広告・メディア事業
④インターネット金融事業
4．海外事業
5．仮想通貨事業
6．GMOあおぞらネット銀行
7．インターネットインフラ事業ご利用状況

金融・決済・仮想通貨領域

仮想通貨

マイニング　bitcoin　BitcoinCash

交換　GMOコイン

決済　GYEN

証券FX

GMO FINANCIAL HD

▲

大和証券グループ本社

株式取得：約97億円（9.37%）

GMO INTERNET GROUP

決済

SMBC GMO PAYMENT

▲ JV設立

三井住友銀行　GMO PAYMENT GATEWAY

出資：約38.6億円（3.36%）

ネット銀行

2018年7月17日事業開始

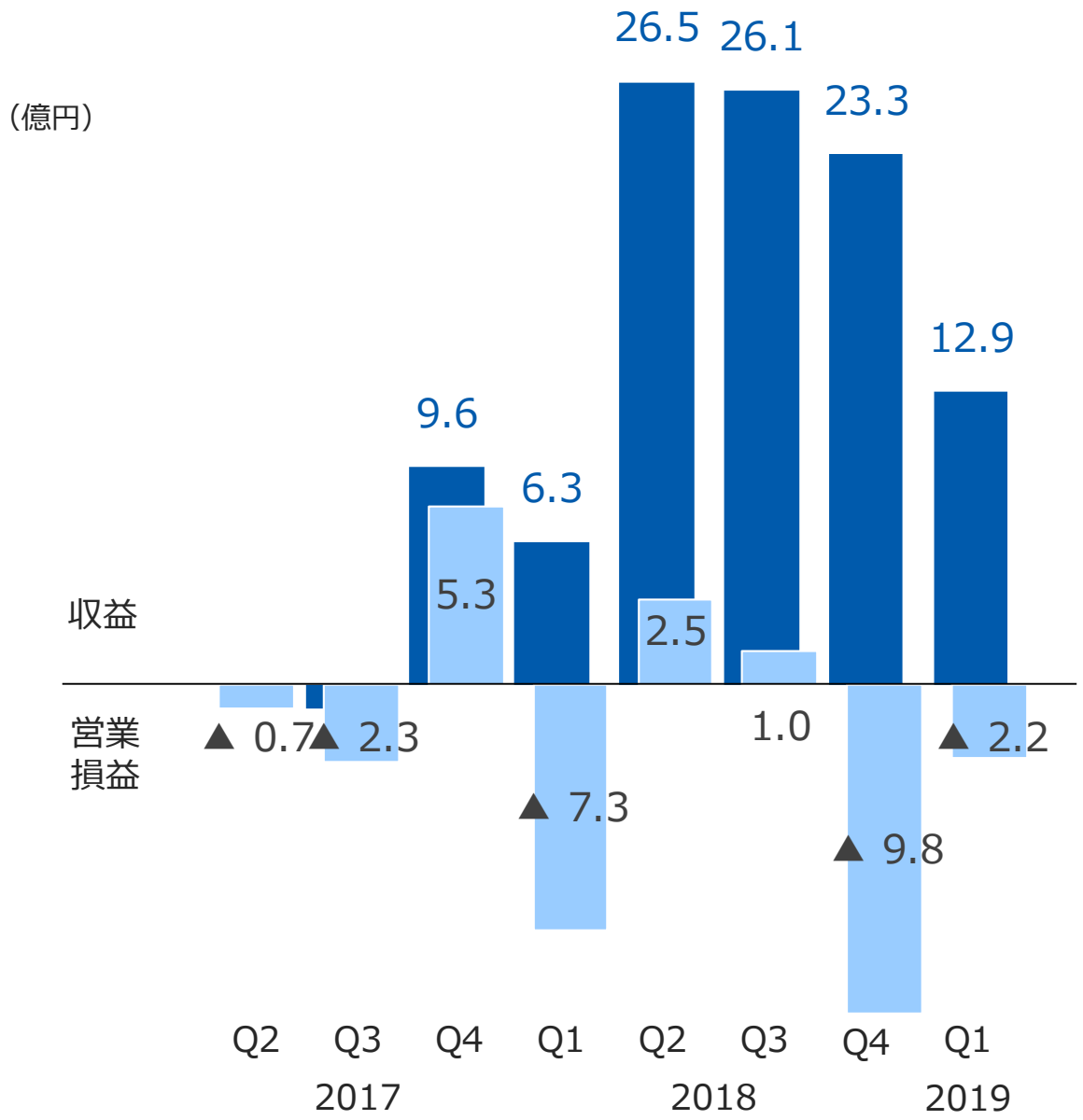
GMOあおぞらネット銀行

▲　▲

あおぞら銀行（85.1%）　GMO INTERNET GROUP（14.9%）

*主要株主認可を取得した場合、議決権比率は50%となる見通しです。

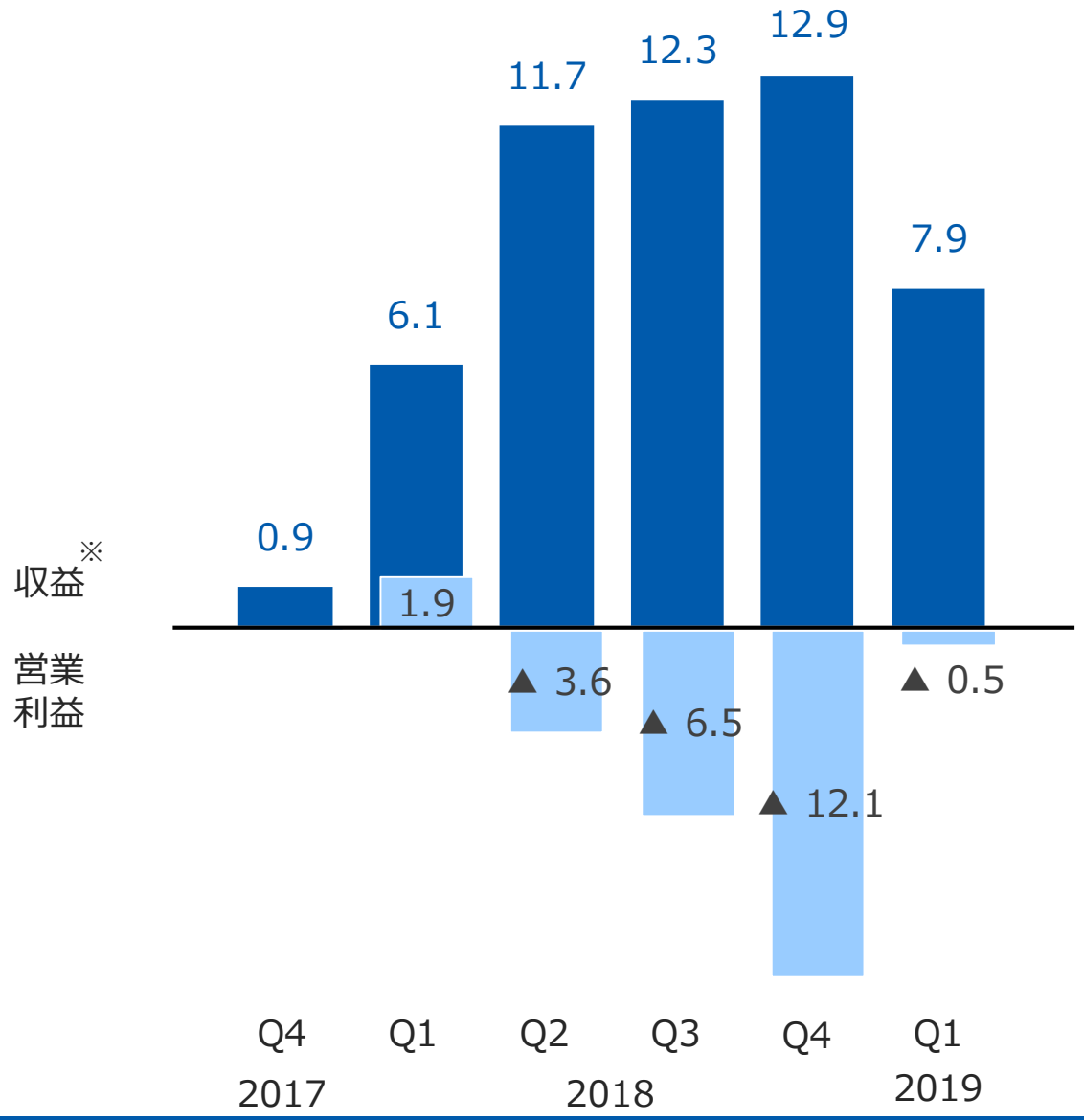
仮想通貨事業｜四半期業績推移



対前四半期

減収・赤字幅縮小

仮想通貨マイニング事業｜四半期業績推移

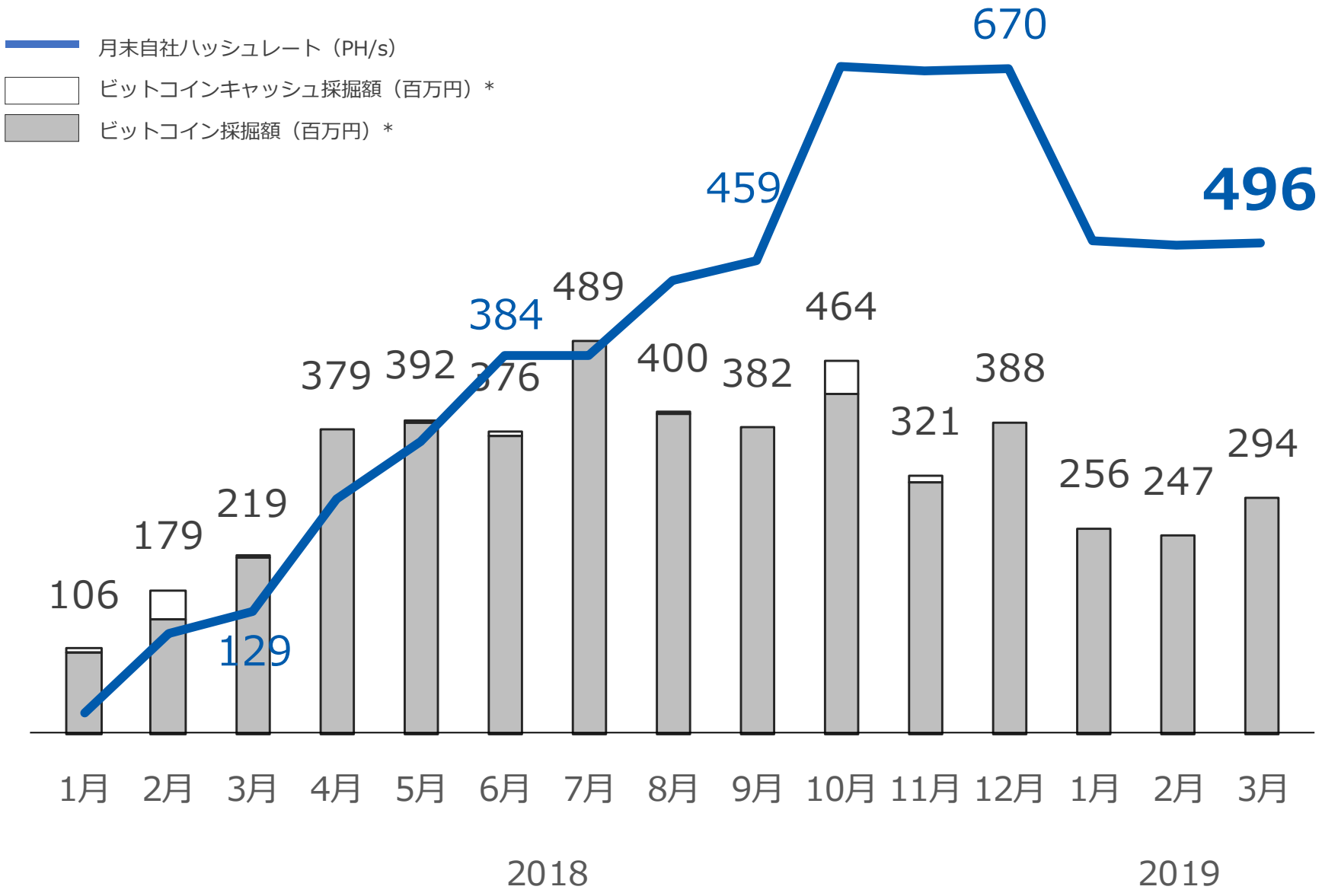


再構築が進捗

償却負担減により赤字縮小

※仮想通貨評価損益を足し戻したグロスの数字
（仮想通貨評価損益：18Q1▲1.6億、18Q2+0.6億、18Q3+0.1億、18Q4▲0.1億、191Q▲0.0億）

仮想通貨マイニング事業｜自社ハッシュレート・採掘高

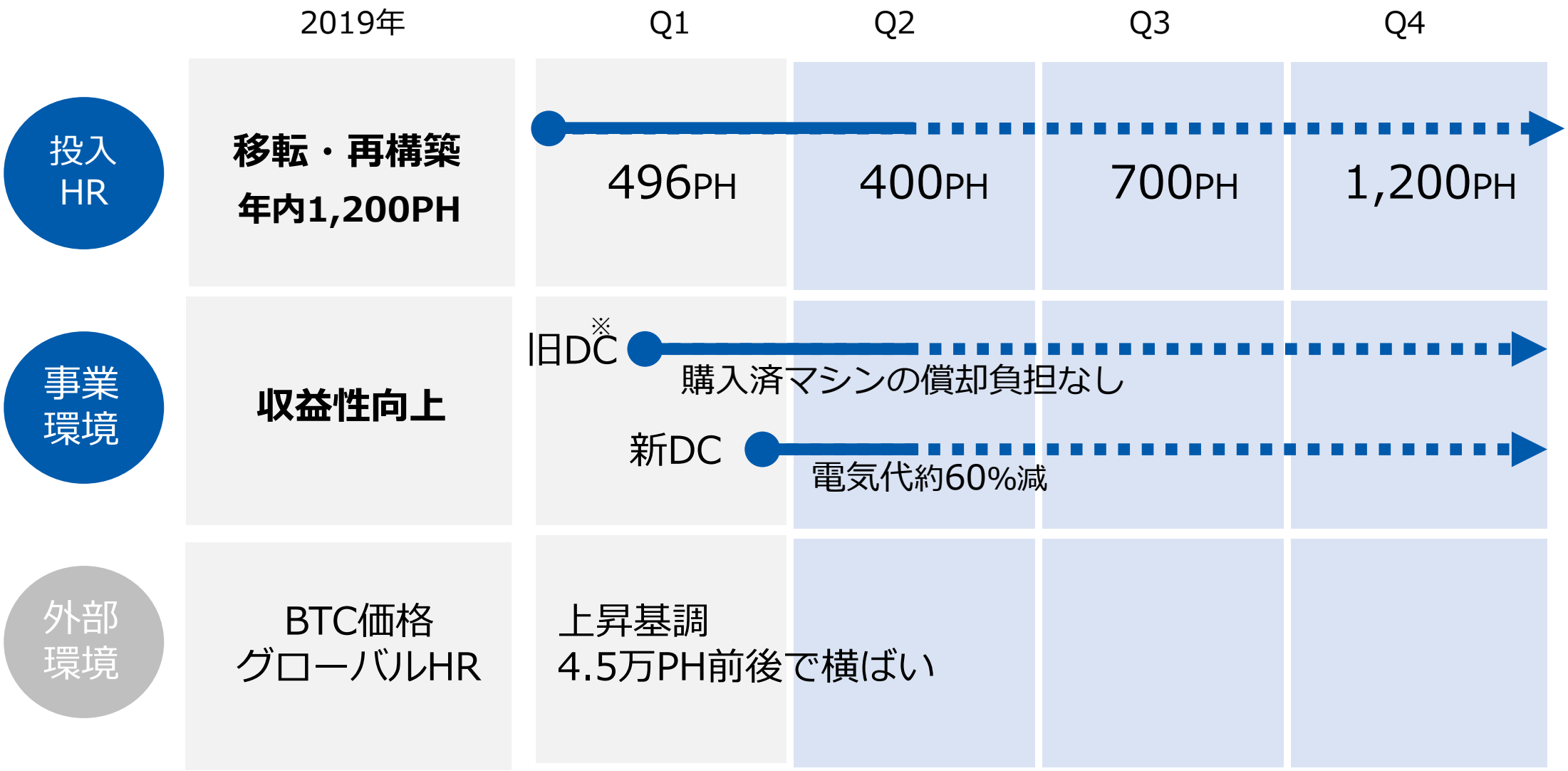


拠点撤退により
自社ハッシュレート
・採掘量は低下

※BTC、BCHの採掘量に月末のレートを乗じて計算した参考値（正確な採掘収益とは異なります）

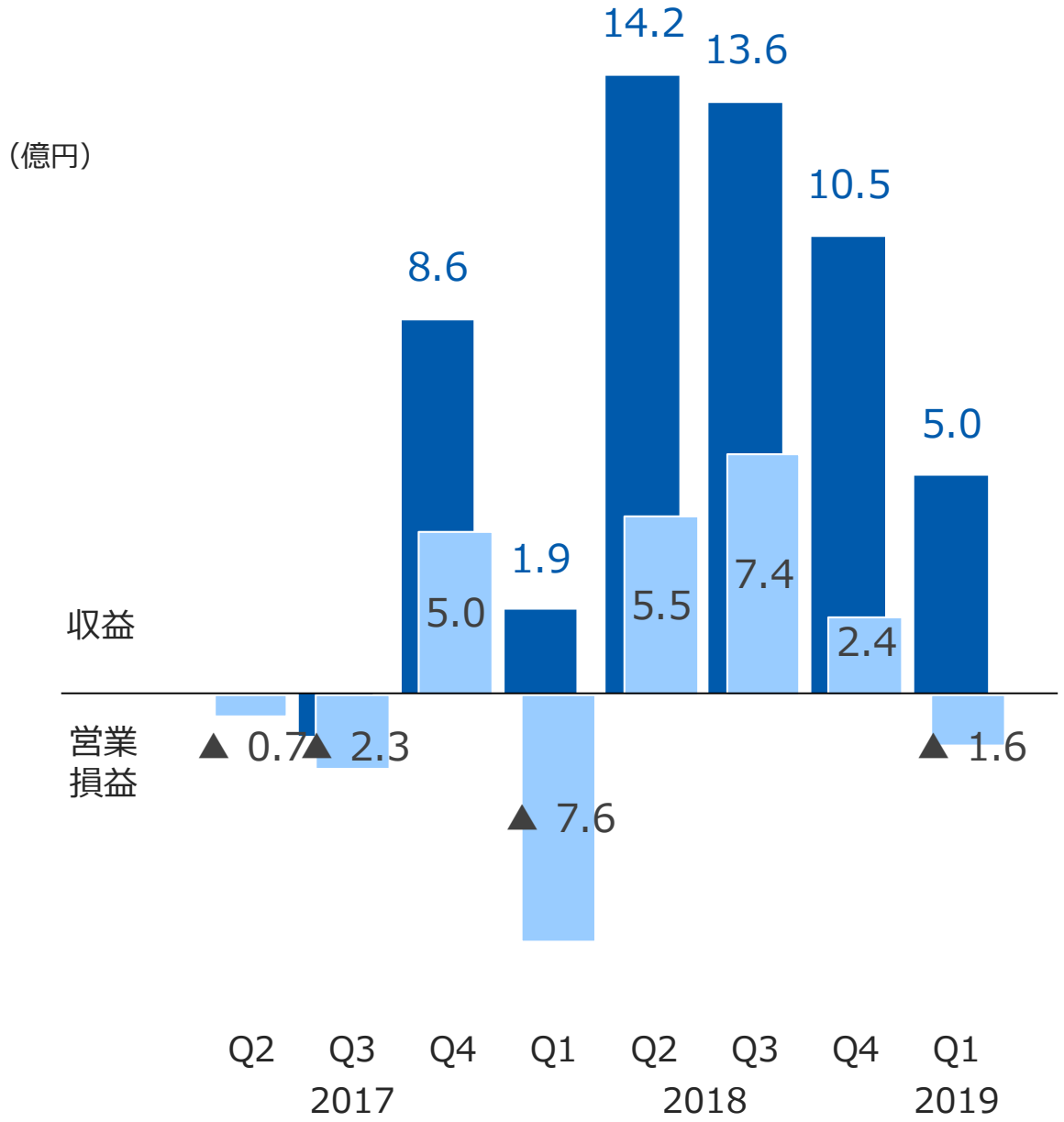
※２：ハッシュレート。当社がマイニングに要する採掘能力

仮想通貨マイニング事業｜今後の見通し



※データセンター

仮想通貨交換事業｜四半期業績推移



取引高減が響き損失計上も

4月以降、相場は上昇基調

仮想通貨｜まとめ

短期の見通し	• マイニング：DCの移転は年内完了。 自社HRは2Qをボトムに一時的に減少、3Q以降上昇へ • 交換：ボラティリティ回復により、取引高は増加基調
中長期戦略	• マイニング：低コスト戦略で利益貢献目指す • 交換：FXのノウハウを活用、国内シェア拡大へ • 決済：日本円と連動したステーブルコインを発行

1．結論と要約
2．決算概要
3．セグメント別状況
①グループ概況
②インターネットインフラ事業
③インターネット広告・メディア事業
④インターネット金融事業
4．海外事業
5．仮想通貨事業
6．GMOあおぞらネット銀行
7．インターネットインフラ事業ご利用状況

金融・決済・仮想通貨領域

GMO INTERNET GROUP

仮想通貨

マイニング　bitcoin　BitcoinCash

交換　GMOコイン

決済　GYEN

証券FX

GMO FINANCIAL HD

▲

大和証券グループ本社

株式取得：約97億円（9.37%）

決済

SMBC GMO PAYMENT

▲ JV設立

三井住友銀行　GMO PAYMENT GATEWAY

出資：約38.6億円（3.36%）

ネット銀行

2018年7月17日事業開始

GMOあおぞらネット銀行

▲　▲

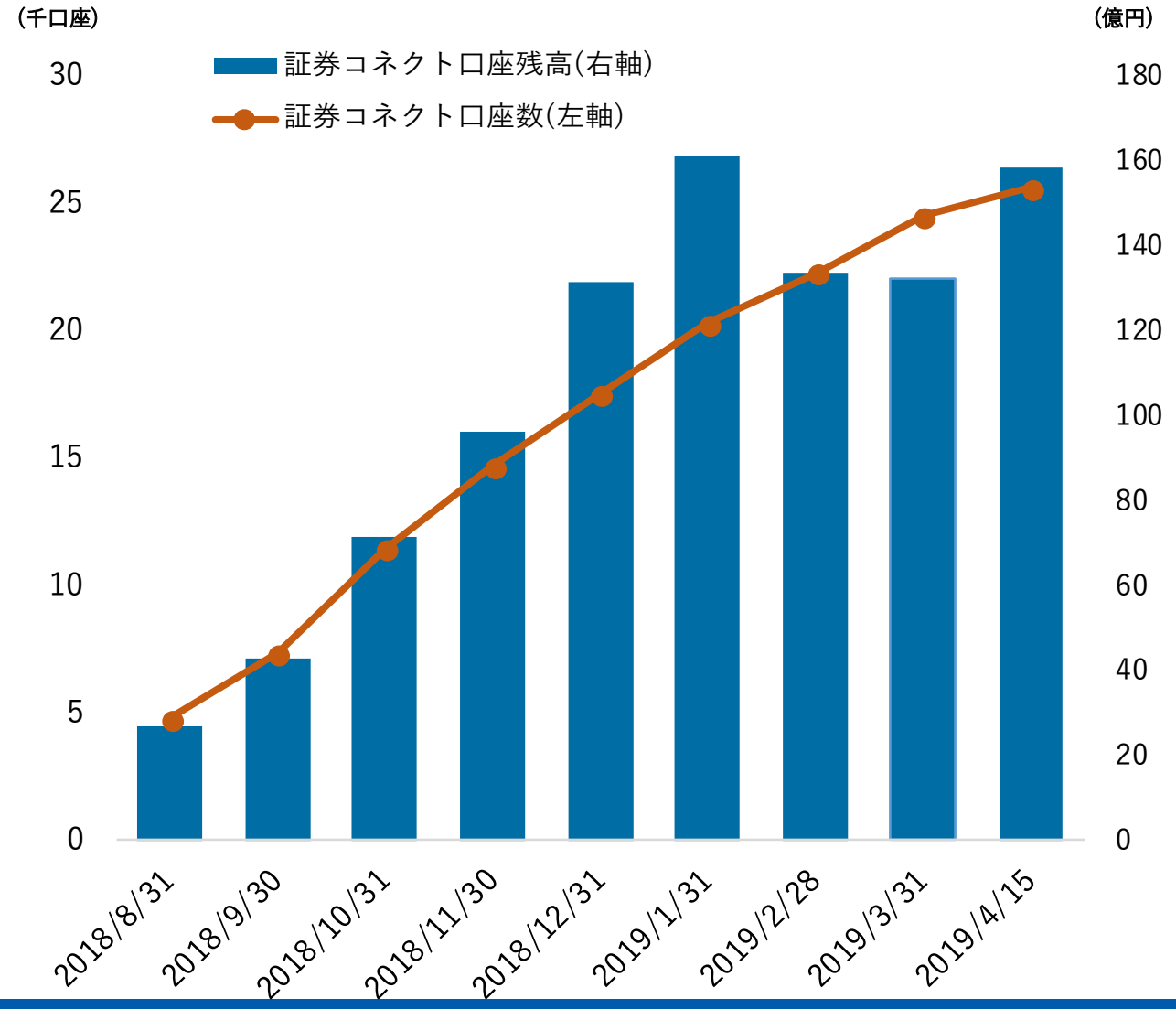
あおぞら銀行　GMO INTERNET GROUP

（85.1%）　（14.9%）*

*主要株主認可を取得した場合、議決権比率は50%となる見通しです。

ネット銀行｜ 証券コネクト口座

GMOクリック証券 × GMOあおぞらネット銀行



口座数・残高
順調に伸長

ネット銀行｜API開発者ポータルオープン

GMOあおぞらネット銀行

参照系API無償公開開始

銀行機能　×　外部連携　＝　新たな価値の創造

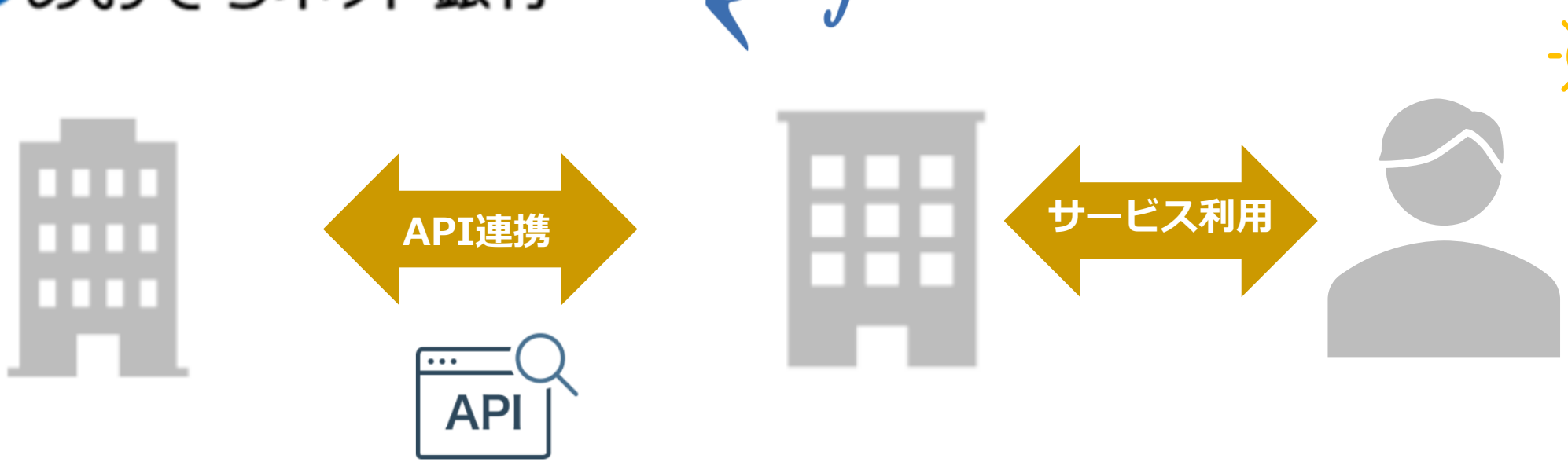
開発者の声

法人向け開発環境の利用は通常は実施期間の制限があるが、好きな時に接続テストができ、とても助かる

ネット銀行｜APIの提供

第1弾： 参照系API公開

GMOあおぞらネット銀行　freee



- 口座残高、入出金明細など口座情報の参照
- 安定した環境での自動仕訳が可能に

*GMOあおぞらネット銀行　2018年4月25日発表プレスリリースより弊社作成

ネット銀行｜APIの提供

第2弾：国内初*！更新API＋SDK

5/21
GitHub
公開予定

SDK：接続事業者の処理を簡略化する開発キットを提供

└6言語をサポート予定

Ruby、Python、PHP

Java、Node、Go

テクノロジーバンクとしての取り組み

*GMOあおぞらネット銀行調べ

1．結論と要約
2．決算概要
3．セグメント別状況
①グループ概況
②インターネットインフラ事業
③インターネット広告・メディア事業
④インターネット金融事業
4．海外事業
5．仮想通貨事業
6．GMOあおぞらネット銀行
7．インターネットインフラ事業ご利用状況

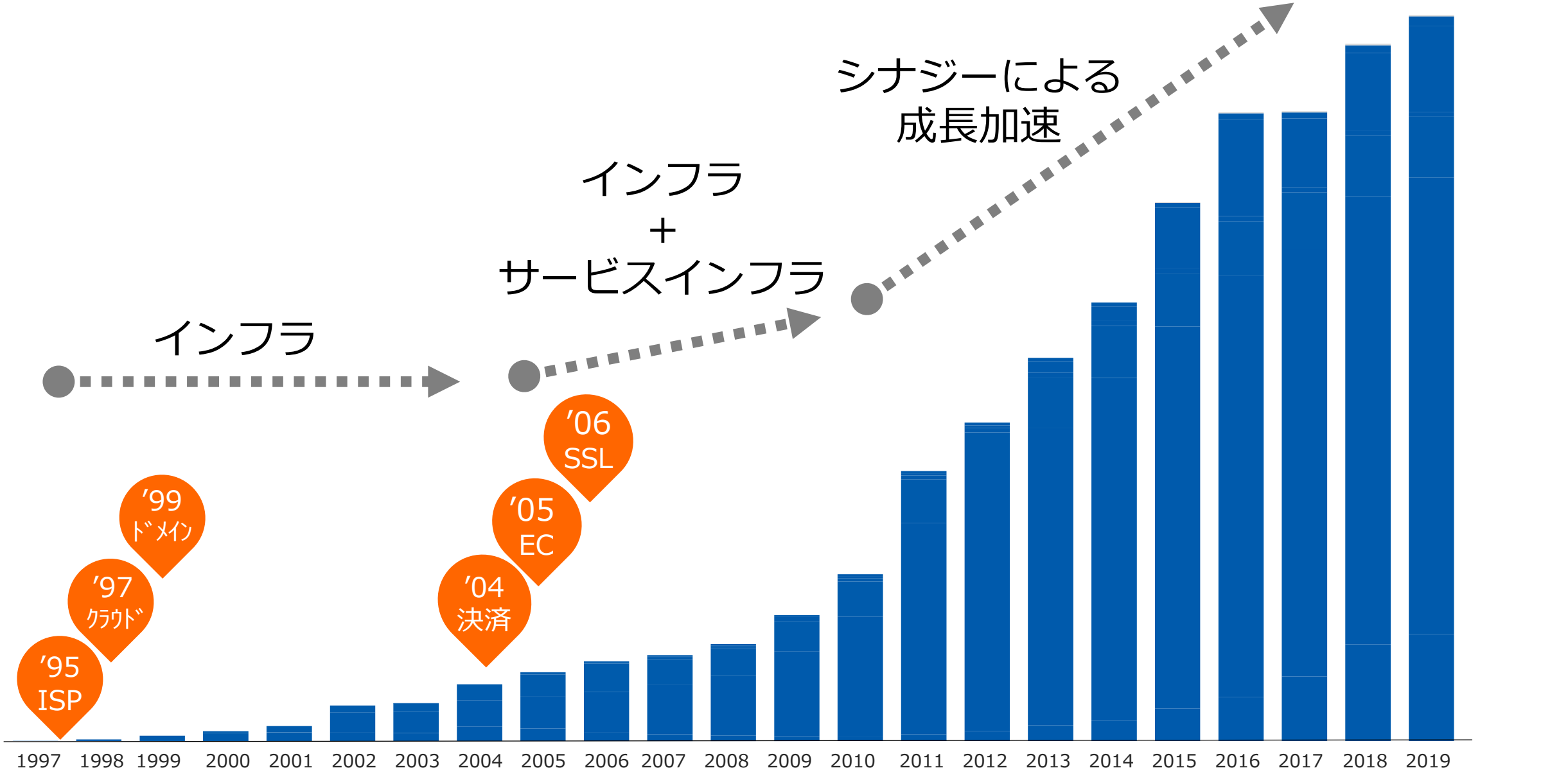
GMO

ご利用1000万件感謝キャンペーン

1000万円分

プレゼント!

ネットインフラ｜セグメント別契約件数



ネットインフラ・成長ドライバー｜アクセス事業

年間売上高**262**億円※（YoY+**43**%）の高成長をけん引

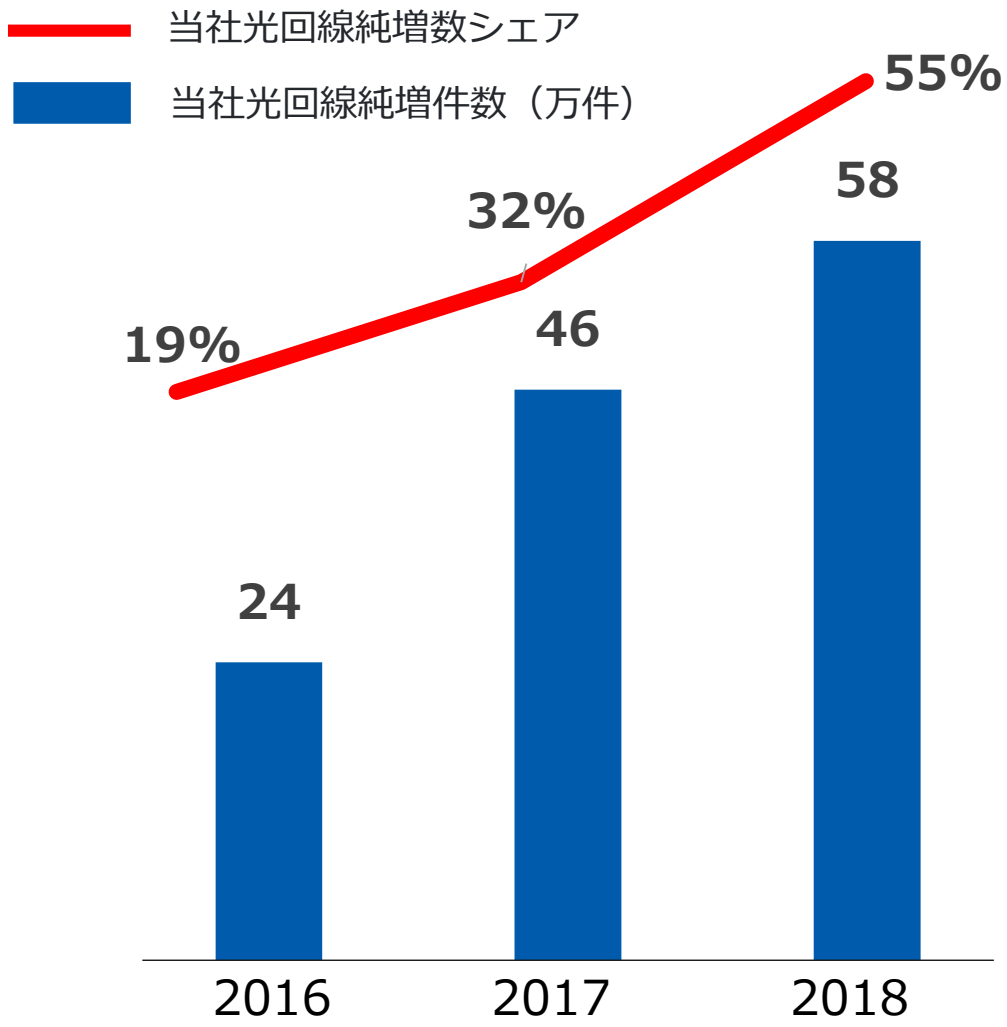
とくとくBB
おとくなプロバイダー
by GMO

モバイルWi-Fi

光回線

※2018年度年間売上

ネットインフラ・成長ドライバー｜アクセス事業



とくとくBB
おとくなプロバイダー
by GMO

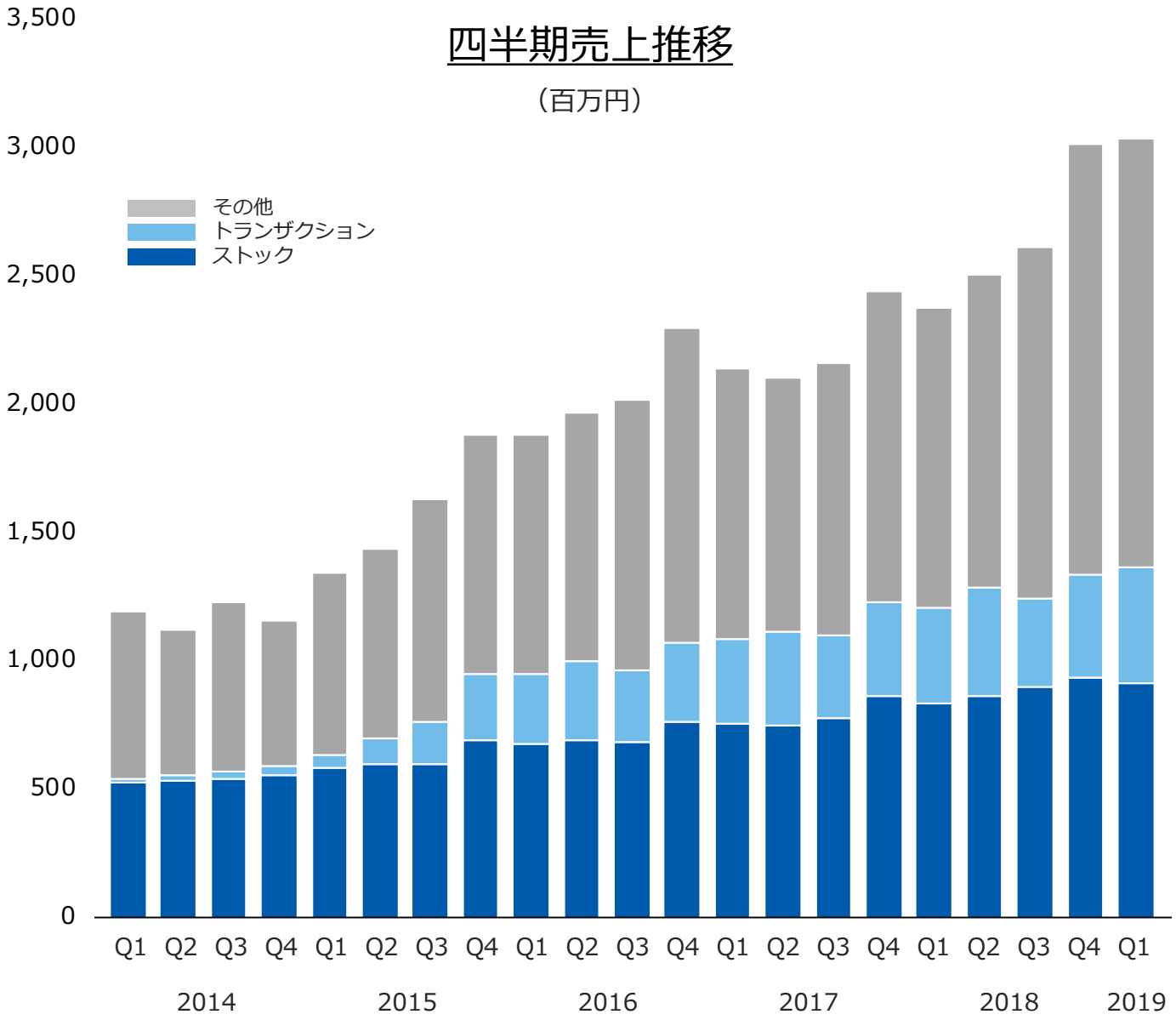
光回線

年間純増シェア

55%へ成長

※総務省電気通信サービスの契約数及びシェアに関する四半期データの公表（平成29年度第4四半期（3月末）＞固定ブロードバンド＞FTTH回線契約数の年間純増数と比較

ネットインフラ・成長ドライバー｜EC支援事業



GMO リピーター
GMO チェックイン
まるっとサポート!
canvath
020 by GMO
SUZURI
FREENANCE by GMO
minne
MakeShop by GMO
COLOR ME by GMOペパボ

収益モデルの多様化

▼

高成長を実現

最後に

財閥系グループの歴史に学ぶ

インフラ × 金融

交通・海運・鉱山

銀行・保険

財閥系グループの歴史に学ぶ

インフラ × 金融

ドメイン
ホスティング・決済

ネット銀行・ネット証券

GMO INTERNET GROUP

すべての人にインターネット

GMO

GMO INTERNET

2019年12月期 第2四半期決算発表は 2019年8月6日 15時以降を予定しております。

本資料には、2019年5月9日現在の将来に関する前提、見通し、計画等に基づく予測が含まれています。世界経済、競合状況、為替の変動、仮想通貨の価格変動等にかかわるリスクや天変地異などの不確定要因により実際の業績が記載の予測と大きく異なる可能性があります。またマーケットシェアなどの数値について一部弊社推計値が含まれております。調査機関によって異なる可能性があります。また本資料に掲載されている情報は、情報の提供を目的としたものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。また本資料内に記載されている業績予想などの将来の予測に関するものは、リスクや不確定要因を含みます。実際の業績は経済情勢や市場環境など、さまざまな要因により、かかる予想とは大きく異なることがあることをご承知おきください。当該情報に基づいて被ったいかなる損害に関しても、その理由の如何に関わらず一切の責任を負うものではございません。

Copyright (C) 2019　GMO Internet, Inc. All Rights Reserved.